

番号	14	中村先生殉職の地		
所在地		佐賀市富士町麻那古		
災害別		昭和38年（1963） 豪雪（38豪雪）		
目的別		その他	建立年	不 明
特記事項				



中村先生の殉職の地と記した碑が、佐賀市富士町麻那古の国道323号線沿いの山端集落に続く三叉路に建てられている。「富士町史」によれば、中村富可男先生は、大正11年(1922)旧北山村上無津呂に生まれ旧制唐津中学校卒業後、小学校教諭となり古湯小勤務などを経て、北山小学校に勤務されていたが、昭和38年1月28日、60年ぶりの豪雪の中、児童を送り届けた帰途遭難殉職された。

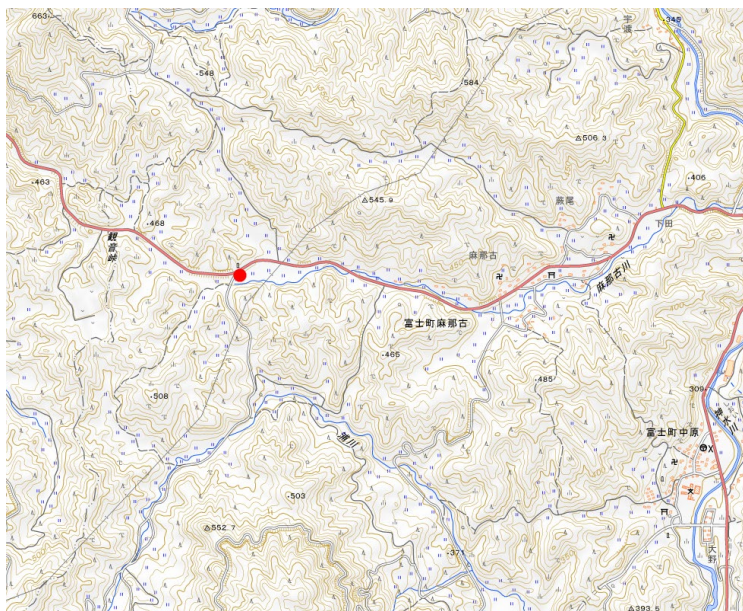
「佐賀県災異誌」によれば、昭和38年1月から2月上旬にかけて大陸からつぎつぎに新しい寒気が南下し、九州地方はもとより、北海道を除いて全国的に記録的な低温と大雪が続き、この異常に近い冬型の気圧配置は約1か月以上も続き、佐賀地方気象台開設(明治24年)以来、雪日数の最多連続記録や1月の最低最高気温など新記録が生まれたと記している。このため平地はもとより、特に山間部においては長期間にわたって交通不能となったとのことである。

佐賀市立小中一貫校北山校には中村富可男先生の顕彰碑が建てられている。

「中村先生 殉職の地 昭和38年1月28日 於南西1軒の地殉職 顕彰会」



碑の前には、今も花や飲み物などが供えられている。



国土地理院電子国土 Web



「中村先生顕彰碑」
中小一貫校北山校内